

平成 28 年 11 月 平成 28 年大崎歯科医師会 『市民公開講座』

日時 平成 28 年 11 月 6 日 (日) 10~12 時

場所 大崎口腔保健センター

講 師

東北大学大学院 歯学研究科

口腔病態外科学講座 口腔診断学分野 助教

佐 藤 しづ子 先生



<演題名>

「最新の口腔乾燥と味覚異常の治療について」

<抄録>

「美味しく味わって食べる」ことは、赤ちゃんからお年寄りまで、全てのライフステージにおいて人生の大きな喜びです。しかしながら、我が国は超高齢化社会を迎え、お年寄りに味覚障害患者が増えています。また、最近では、若い人にも食生活の不具合にもとづく味覚障害がみられるようになりました。味覚障害は「味がわかりにくい」とどまりません。特にお年寄りでは、味覚障害(味がわかりにく)が食欲低下(食べたくない)から栄養障害(やせた、体がだるい、など)を引き起こし、介護や認知症にも関係する危険因子にもなります。

一方、味を感じるセンサーは、お口の中だけではなく、胃、腸、食道や鼻の粘膜などにもあることが最近わかってきました。体の様々な部位にあるセンサーによって、味覚は全身の健康に役立っています。味覚は、甘味、塩味、酸味、苦味、うま味の5つの基本味からなります。その中でも「うま味」は、日本人にとっては「ダシ」として馴染みが深く、日本人が発見したことで有名です。今回の講座では、「うま味」と全身健康との関係についてもお話ししたいと思います。

このように健康へ悪影響を及ぼす味覚障害は、お口の中の病気と関連が深いことが、最近、よく判ってきました。味覚障害を予防または治療するのに、どのように歯科医院を利用すれば良いか、ぜひ知っていただきたいと思います。

「美味しい」を、皆さんの健康に役立てましょう！

【略歴】

1986 年 東北大学歯学部卒業、1990 年 同大学院歯学研究科 博士課程修了、同年より東北大学大学院歯学研究科助教 現在に至る。

【研究分野】

専門は、口腔診断学。現在の研究テーマは、高齢者の味覚障害と栄養障害、若年者の栄養摂取と味覚障害、うま味検査法の開発と臨床応用、がん患者支持療法としての味覚治療、口腔乾燥症における小唾液腺機能検査法の開発と臨床応用、口腔乾燥症に対するうま味刺激治療法の開発

【セミナー関連の著書】

高齢者の味覚障害に歯科医院を役立てよう！

一食事がおいしくない、痩せてきた、そんな時・・・ — 学建書院, 2013

【所属学会】

日本口腔診断学会 (代議員) (認定医、指導医)

日本口腔内科学会 (代議員)

日本歯科放射線学会 (認定医、専門医)

日本味と匂学会 (評議員)

自律神経学会